

開講年度	2024		開講学期	春学期	
科目コード	ZG0250		授業コード	40246	
科目名	観光学		開講曜日・時限	水曜4限	
担当教員名【代表】	海老 良平				
担当教員					
授業形態	講義				
単位数	2単位				
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。				
授業の目的	観光学とは観光の構造や要素、人々の観光行動を多面的に分析、研究する学問である。コロナ禍によって世界の観光市場は大きな影響を受けたものの、トレンドとしては21世紀の成長分野として観光が位置付けられていることもあって、観光をめぐる研究は重要な分野の一つとして注目されている。本科目は、現代社会学部のカリキュラム・ポリシーである「社会のさまざまな活動を理解し、洞察力、創造力を高めること」に関連し、観光学を広く理解することで、現代社会を観光の視点から考える力を身につけることを目的とする。				
授業の内容					
①能力開発メソッド	授業レポートのフィードバック 各種メディアからの観光に関する話題、情報の収集と整理				
②課題レポート等	各単元のまとめレポートの提出を課す。				
③授業概要	授業では、観光学で扱われるテーマに沿って、観光とは何かを学習していく。時代や社会を写す鏡とも言われる観光は、刻々と新たな変化や課題が現れるものでもあるので、特にコロナ禍にあって急速に変化する観光の状況も授業内で取り上げながら、現代社会における観光への理解を深めていく。そのためには、日常の観光にまつわるニュースや話題に関心を持つことが、履修者には求められる。				
授業時間外学習	①各授業内容の予習・復習（2時間） ②授業に関する情報収集（2時間）				
授業計画					
	目的	主題	概要	授業時間外学習	
01	知識／能力	オリエンテーション	授業の概要、進め方について説明する		
02	知識／能力	旅と観光の歴史（1）	江戸時代の旅の歴史から、日本の観光の原点を学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
03	知識／能力	旅と観光の歴史（2）	19世紀における近代観光誕生の歴史を学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
04	知識／能力	旅と観光の歴史（3）	戦後の団体旅行の歴史から大衆観光とは何かを学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 単元まとめレポートの作成（2時間）	
05	知識／能力	現代観光論（1）	現代の観光者が求める観光の形について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
06	知識／能力	現代観光論（2）	地域活性化と観光の関係について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 単元まとめレポートの作成（2時間）	
07	知識／能力	都市文化と観光（1）	万博の街・大阪の都市文化と観光について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
08	知識／能力	都市文化と観光（2）	伝統文化の街・京都の都市文化と観光について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
09	知識／能力	都市文化と観光（3）	若者文化の街・渋谷の都市文化と観光について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 単元まとめレポートの作成（2時間）	
10	知識／能力	観光学の概念（1）	観光地の構造について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
11	知識／能力	観光学の概念（2）	ホスピタリティの考え方を学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）	
12	知識／能力	観光学の概念（3）	観光客の行動要因について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 単元まとめレポートの作成（2時間）	

13	知識／能力	観光政策論（1）	観光市場をめぐるデータを読む	授業内容の予習・復習（2時間） 授業に関する情報収集（2時間）			
14	知識／能力	観光政策論（2）	世界と日本、地域の観光政策について学ぶ	授業内容の予習・復習（2時間） 単元まとめレポートの作成（2時間）			
15	知識／能力	総括	授業全体をまとめる	授業全体のふりかえり（4時間）			
到達目標と学習成果							
①知識レベル		観光に関する総合的知識を習得する。					
②能力レベル		社会における観光の意義や役割の理解を通して、現代社会の課題についての分析力、論理的思考力を養成する。					
C-PLATS（Level）到達基準							
コミュニケーション		プレゼンテーション		リーダーシップ	行動力	2	
創造力	2	計画力	2	論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力		社会的責任	2				
成績評価の基準と方法	評価基準：A評価90%以上、B評価80%以上89%以下、C評価70%以上79%以下、D評価60%以上69%以下、F評価60%未満とする。 評価方法：各単元をまとめた授業レポートの内容（計5回）で評価する。各単元の配点は20%ずつとし、合計100%で評価する。						
教科書	教科書は使用しない。授業は配布されるレジュメや資料等によって進められる。各自、専用のノートを用意し、各観光用語をまとめるなり、新聞記事のスクラップなどをして、自分なりの観光用語集を作ること。						
参考図書	竹内正人、竹内利江、山田浩之編著、『入門観光学』、ミネルヴァ書房、2018年。 適宜、他の図書も指示する。						
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 履修希望者が多数の場合はクラス増設は行わず、選抜により人数を制限する場合がある。その場合現代社会学部生および観光ビジネス（2023年度入学生は観光・地域マネジメント）メジャー希望者を中心に選抜することもある。選抜に漏れた場合は次年度以降に受講してもらいたい。 正当な理由なき遅刻、途中退席は厳禁。 授業内で把握しきれなかった点はそのままとしておくのではなく、積極的に質問し、知識を確かなものとして蓄えること。 						